

2019/5/19(日)9:50-12:50 (受付開始 9:00)

100 歳時代のこころとからだを支える漢方

講座情報

厚生労働省によると、100 歳以上人口は老人福祉法が制定された昭和 38 年には全国で 153 人だったが、2018 年には 69,785 人に達した。今後も増加が予測されており、人生 100 歳時代も現実のものとなっている。しかしながら、単なる長寿は必ずしも幸せとは限らない。多くの高齢者が寝たきりや認知症を恐れていることは間違いない。寿命よりも健康寿命を延伸することこそが重要である。

加齢に伴う「腎虚」を補う八味地黄丸や牛車腎気丸を始め、加齢に伴う種々の不調を支える知恵が漢方にある。また、歳を重ねてから慌てるのではなく、若い頃から年齢を重ねた時の準備を進めることが必要である。こうした未病に対する知恵も漢方にある。

講演では、百歳時代を迎えたわが国で、漢方をどのように使うべきかを解説する。

《学習到達目標》

- 高齢者の医学的特徴につき理解する。
- 高齢者医療における漢方の役割を理解する。
- 高齢者の愁訴に対する漢方薬の実際につき理解する。
- 健康寿命延伸のための未病対策につき理解する。
- 未病に役立つ漢方薬を理解する。

講演者情報

渡辺 賢治

慶應義塾大学医学部漢方医学センター 客員教授

プロフィール

1984 年慶應義塾大学医学部卒、医師・医学博士

慶應義塾大学医学部内科、東海大学医学部免疫学教室、米国スタンフォード大学遺伝学教室、北里研究所(現:北里大学)東洋医学総合研究所、慶應義塾大学医学部漢方医学センター准教授などを経て現在に至る。

日本内科学会総合内科専門医、日本東洋医学会専門医・WHO 国際疾病分類伝統医学共同議長、漢方産業化推進研究会理事長、神奈川県顧問・奈良県顧問等を兼ねる。

主要著書

漢方医学 講談社メチエ	講談社	2013
マトリックスでわかる! 漢方薬使い分けの極意	南江堂	2013
日本人が知らない漢方の力	祥伝社	2012

参考サイト

未病チェックシート <http://me-byo.com/>